

2 / 3・4

登別温泉の湯に感謝

第45回登別温泉湯まつり

2月3日(水)・4日(木)の2日間、登別温泉とカルルス温泉で『第45回登別温泉湯まつり』(市、登別観光協会主催)を開催しました。

この催しは、登別温泉の豊富な湯量と多彩な泉質に感謝するとともに開運招福・無病息災を祈願するまつりで、節分に合わせて毎年開催されています。

2日間かけて、閻魔大王の使者である『湯鬼神』が、商店やホテル、旅館などで『湯鬼神かぐら』の披露やことし1年の厄払いをしたほか、泉源公園では、『子宝もちつき舞』の披露や甘酒・おしるこの振る舞いなどが行われました。

4日の夜には、泉源公園で、まつりのメインイベントである『源泉湯かけ合戦』を実施。見物に集まった約500人の市民や観光客が注目する中、紅白に分かれた下帯姿の若者約120人が、湯かけ合戦を繰り広げました。紅白の勝負を決する騎馬戦では、熱戦の末に白組が勝利。紅組が勝つと登別温泉の湯の温度が上がり白組が勝つと湯量が増えると言われており、ことしは登別温泉の湯量の増加が期待されます。



▲湯鬼神による『湯鬼神かぐら』



▲熱戦が繰り広げられた『源泉湯かけ合戦』

三時代のお雛さまが勢揃い
企画展『お雛さま人形展』
2月2日(火)から3月3日(木)まで、郷土資料館で、企画展『お雛さま人形展』(市教育委員会主催)を開催しています。
回展は、明治、大正、昭和の三時代の雛人形を展示しており、人形の表情や飾りなどから時代の移り変わりを見比べることができます。
2月5日(金)には、幌別東小学校3年生の児童11人が郷土資料館を訪れ、華やかな雛人形に見入っていました。
同小学校3年生の元上果旺さんは「大正時代の雛人形がきれいでした。たくさんのお雛人形を見る機会はなかなかないので楽しかったです」と笑顔で話してくれました。



▲郷土資料館館長から、各時代の雛人形の違いを聞く児童

この記事の関連動画を次の方法でご覧いただけます。

- ・URL:
<https://www.youtube.com/user/NoboribetsuOfficial/videos>
- ・市フェイスブック
- ・二次元バーコード



▲怖いのを我慢しながら、鬼と一緒に記念撮影をする子どもたち

鬼が来たぞ豆を投げる

豆まき

2月2日(火)、鬼や福の神に変装した『元鬼ぶりまき隊』(鬼まつり実行委員会)の協力のもと、登別子育て支援センターで『豆まき』(同センター主催)を開催し、9カ月から3歳10カ月までの子どもとその親26組が集まりました。子どもたちは、鬼の登場に驚いて泣きながらも、豆に見立てたカラーボールを必死に投げて鬼に対抗しました。最後には、ボールをぶつけられておとなしくなった鬼と一緒に、怖がりながらも記念撮影をすることができました。子どもたちにとって、少しでも心が強くなった一日となりました。

2 / 2